

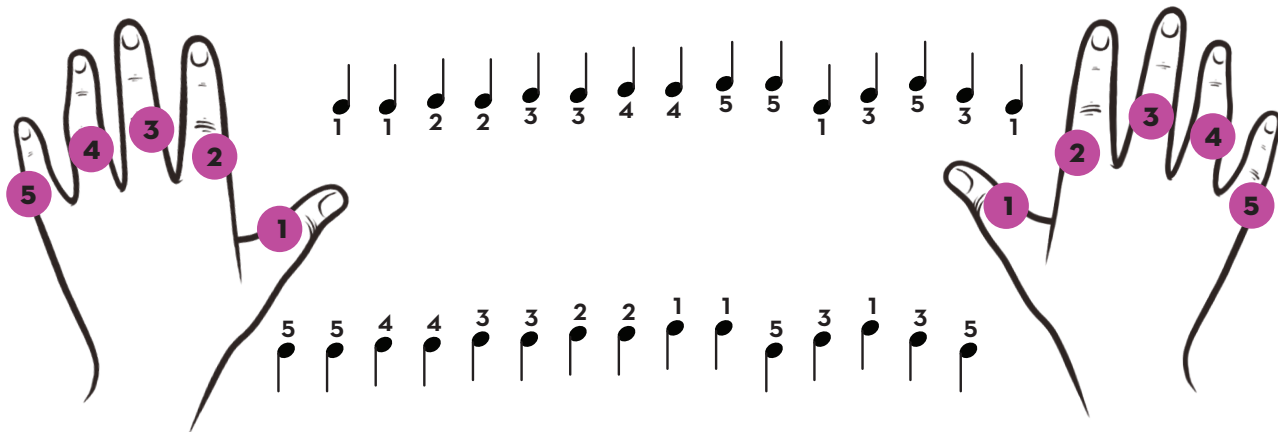


7.立ちます。手を体の横に下ろして力を抜いてください。すると、ボールを握っているような形で手の指が自然に曲がっているはず。もう一度座り、手が自然に曲がっている状態で指を鍵盤に置きます。

8.手を鍵盤の上に置いて、白い鍵盤の広い部分の中央付近に指が触れる

ようにします。手のひらは鍵盤より高い位置に保ち、鍵盤や鍵盤の下の木の部分に手のひらが触れないようにします。

9.爪のすぐ下の指の頭の部分で鍵盤をたたきます。指を曲げたまま、第3関節(指の付け根の関節)から指を上げます。指の関節を曲げたまま鍵盤をたたきます。



指番号のとおり弾く

正しい指で鍵盤をたたけるよう、指には図のように番号が割り当てられています。指番号は、楽譜では音符の上に書かれています。

どれでもよいので5つの鍵盤の上に手を置いて、指を1本ずつ鍵盤に乗せます。表示されているとおりに正しい指使いで弾いて指番

号の練習をしましょう。棒が上についている音符は右手用です。棒が下についている音符は左手用です。